

2024年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年8月10日

上場会社名 岡本硝子株式会社

上場取引所 東

コード番号 7746 URL <https://ogc-jp.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼CEO (氏名) 岡本 毅

問合せ先責任者 (役職名) 財務経理本部付 IR担当部長 (氏名) 風間 卓

TEL 04-7137-3111

四半期報告書提出予定日 2023年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	996	20.9	53		25		23	
2023年3月期第1四半期	1,259	0.3	19	65.5	68	349.5	51	570.1

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 16百万円 (%) 2023年3月期第1四半期 64百万円 (262.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	1.03	
2023年3月期第1四半期	2.20	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	7,513	1,517	20.2
2023年3月期	7,590	1,533	20.2

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 1,517百万円 2023年3月期 1,533百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期		0.00		0.00	0.00
2024年3月期(予想)		0.00		0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,270	13.4	40		50		40		1.72
通期	5,250	7.4	150	12.7	130	11.1	100	53.5	4.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 有

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期1Q	23,305,543 株	2023年3月期	23,305,543 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2024年3月期1Q	29,869 株	2023年3月期	29,869 株
------------	----------	----------	----------

期中平均株式数(四半期累計)

2024年3月期1Q	23,275,674 株	2023年3月期1Q	23,284,500 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、高インフレに伴う各国の金融引き締めが継続しております。米国では、設備投資の増加と堅調な個人消費に支えられ景気は緩やかに回復しています。ヨーロッパ地域では、景気は持ち直しに足踏みがみられます。中国では、不動産開発投資の減少と個人消費が振るわなかったことにより景気は減速しています。日本では、堅調な個人消費などにより景気は緩やかに持ち直しています。

当第1四半期連結累計期間において、プロジェクター需要は、教育用を中心に堅調でしたが、世界的な物流混乱の解消と中国のゼロコロナ政策終了による部品在庫水準の正常化の動きがプロジェクターメーカー各社で継続しているため、当社グループのプロジェクター用反射鏡及びフライアイレンズの販売は減少しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の連結業績は、売上高996百万円(前第1四半期連結累計期間比20.9%減)、経常損失25百万円(前第1四半期連結累計期間の経常利益は68百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失23百万円(前第1四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純利益は51百万円)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①光学事業

当第1四半期連結累計期間の売上高は419百万円と前年同期と比べ188百万円(31.0%)の減収となり、セグメント利益(営業利益)は35百万円と前年と比べ65百万円(64.6%)の減益となりました。

プロジェクター用反射鏡は、販売数量が前年同期比12.3%減少し、売上高は17.6%減少いたしました。フライアイレンズは、販売数量が前年同期比で29.6%減少し、売上高は37.6%減少いたしました。

②照明事業

当第1四半期連結累計期間の売上高は108百万円と前年同期と比べ49百万円(31.5%)の減収となり、セグメント損失(営業損失)は4百万円と前年と比べ4百万円(前第1四半期連結累計期間のセグメント損失は9百万円)の増益となりました。タッチパネルのカバーガラスの売上高が減少いたしました。

③機能性薄膜・ガラス事業

当第1四半期連結累計期間の売上高は317百万円と前年同期と比べ37百万円(10.6%)の減収となり、セグメント利益(営業利益)は16百万円と前年と比べ32百万円(66.3%)の減益となりました。

④その他

当第1四半期連結累計期間の売上高は150百万円と前年同期と比べ12百万円(8.8%)の増収となり、セグメント利益(営業利益)は15百万円と前年と比べ18百万円(前第1四半期連結累計期間のセグメント損失は2百万円)の増益となりました。UV反射鏡の売上高が増加いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末と比べて77百万円減少し、7,513百万円となりました。

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ57百万円の減少となりました。この主な要因は、商品及び製品が61百万円増加したこと及び仕掛品が53百万円増加したこと並びに受取手形及び売掛金が53百万円減少したこと及び流動資産その他が87百万円減少したことなどによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ20百万円の減少となりました。有形固定資産が14百万円減少したことなどによるものであります。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べ77百万円の減少となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ12百万円の減少となりました。この主な要因は、賞与引当金が25百万円増加し、1年内返済予定の長期借入金が28百万円減少したことなどによるものであります。

固定負債は前連結会計年度末に比べ48百万円の減少となりました。この主な要因は、長期借入金44百万円減少したことなどによるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ60百万円の減少となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ16百万円の減少となりました。この主な要因は、利益剰余金が23百万円

減少したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月15日に公表いたしました2024年3月期の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,538,944	1,490,512
受取手形及び売掛金	1,047,619	994,488
商品及び製品	303,294	365,051
仕掛品	592,193	645,957
原材料及び貯蔵品	160,564	176,344
その他	175,762	88,713
流動資産合計	3,818,378	3,761,067
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,232,306	1,207,402
機械装置及び運搬具（純額）	849,012	1,170,905
土地	764,514	764,514
リース資産（純額）	123,830	117,243
建設仮勘定	503,820	194,600
その他（純額）	29,252	33,719
有形固定資産合計	3,502,737	3,488,385
無形固定資産	48,687	40,945
投資その他の資産		
投資有価証券	30,529	32,245
繰延税金資産	47,122	50,379
その他	143,306	140,422
投資その他の資産合計	220,959	223,047
固定資産合計	3,772,384	3,752,378
資産合計	7,590,763	7,513,445
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	337,588	318,906
短期借入金	820,000	820,000
1年内返済予定の長期借入金	683,989	655,549
リース債務	65,989	50,343
未払法人税等	27,667	6,647
賞与引当金	34,655	60,300
未払金	177,427	203,064
その他	73,435	93,322
流動負債合計	2,220,753	2,208,133
固定負債		
長期借入金	3,397,926	3,353,905
リース債務	84,362	78,397
繰延税金負債	40,507	40,507
退職給付に係る負債	235,517	236,635
資産除去債務	75,696	77,359
その他	2,192	1,367
固定負債合計	3,836,202	3,788,171
負債合計	6,056,956	5,996,304
純資産の部		
株主資本		

資本金	2,495,740	2,495,740
資本剰余金	734,225	734,225
利益剰余金	△1,771,855	△1,795,774
自己株式	△429	△429
株主資本合計	1,457,680	1,433,761
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,173	2,806
為替換算調整勘定	60,636	67,138
退職給付に係る調整累計額	13,257	13,376
その他の包括利益累計額合計	76,067	83,322
非支配株主持分	58	56
純資産合計	1,533,807	1,517,140
負債純資産合計	7,590,763	7,513,445

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)
売上高	1,259,879	996,221
売上原価	895,826	705,391
売上総利益	364,052	290,830
販売費及び一般管理費		
役員報酬	21,630	23,430
給料及び手当	115,588	108,889
退職給付費用	5,014	3,583
減価償却費	23,170	23,206
旅費及び交通費	6,750	6,845
支払手数料	27,844	28,347
運賃	12,914	10,918
賞与引当金繰入額	6,813	9,804
研究開発費	26,530	31,269
その他	98,210	97,897
販売費及び一般管理費合計	344,468	344,192
営業利益又は営業損失(△)	19,584	△53,362
営業外収益		
受取利息	11	12
受取配当金	704	760
為替差益	60,034	34,136
助成金収入	1,972	4,057
業務受託料	900	—
その他	3,792	5,600
営業外収益合計	67,415	44,567
営業外費用		
支払利息	15,559	14,269
その他	3,190	2,345
営業外費用合計	18,750	16,614
経常利益又は経常損失(△)	68,250	△25,409
特別損失		
固定資産除却損	—	0
特別損失合計	—	0
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	68,250	△25,409
法人税等	17,116	△1,488
四半期純利益又は四半期純損失(△)	51,134	△23,920
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2	△1
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	51,136	△23,919

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	51,134	△23,920
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,248	633
為替換算調整勘定	9,752	6,501
退職給付に係る調整額	1,343	118
その他の包括利益合計	13,343	7,254
四半期包括利益	64,477	△16,666
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	64,480	△16,664
非支配株主に係る四半期包括利益	△2	△1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 配当に関する事項
該当事項はありません。
2. 株主資本の著しい変動
該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 配当に関する事項
該当事項はありません。
2. 株主資本の著しい変動
該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

また、一部の連結子会社の税金費用は税引前四半期純利益に前年度の損益計算書における税効果会計適用後の法人税等の負担率を乗じることにより算定しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(会計方針の変更)

(税金費用の計算方法の変更)

従来、税金費用については、年度決算と同様の方法により計算しておりましたが、当社及び連結子会社の四半期決算業務の一層の効率化を図るため、当第1四半期連結会計期間より連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法に変更しております。

なお、この変更による影響は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	光学事業	照明事業	機能性薄膜・ ガラス事業	計		
売上高						
顧客との契約から生 じる収益	608,035	158,466	354,799	1,121,301	138,577	1,259,879
その他の収益						
外部顧客への売上高	608,035	158,466	354,799	1,121,301	138,577	1,259,879
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	608,035	158,466	354,799	1,121,301	138,577	1,259,879
セグメント利益又はセ グメント損失(△)	100,947	△9,352	48,764	140,359	△2,792	137,567

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、デンタルミラーなどの医療向けガラス製品、洗濯機用ドアガラスなどを含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	140,359
「その他」の区分の利益	△2,792
全社費用(注)	△117,982
四半期連結損益計算書の営業利益	19,584

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. のれんの金額の重要な変動

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	光学事業	照明事業	機能性薄膜・ ガラス事業	計		
売上高						
顧客との契約から生 じる収益	419,687	108,475	317,332	845,495	150,725	996,221
その他の収益						
外部顧客への売上高	419,687	108,475	317,332	845,495	150,725	996,221
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	419,687	108,475	317,332	845,495	150,725	996,221
セグメント利益又はセ グメント損失(△)	35,687	△4,508	16,413	47,593	15,457	63,051

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、デンタルミラーなどの医療向けガラス製品、洗濯機用ドアガラスなどを含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	47,593
「その他」の区分の利益	15,457
全社費用(注)	△116,413
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△53,362

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. のれんの金額の重要な変動

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

2023年7月28日開催の取締役会において、ガラス溶融炉及び成型設備の設備投資を行うことを決定しました。

(1) 設備投資の目的

当社は、プロジェクター用フライアイレンズを当社本社工場で生産しておりますが、ガラス溶融炉が寿命を迎える為、設備更新が必要となりました。この設備更新に合わせ、当社独自のダイレクトプレス技術の再進化の為、新しい成型方法を導入した溶融炉及び成型設備を設置する設備投資を決議いたしました。

上記によりまして、レンズの小型化や高精度化・セルの微細化を実現し、プロジェクターの固体光源化対応並びにより高精度が要求される車載分野への商品展開を狙います。

(2) 設備投資の内容

- | | |
|--------|----------------------------|
| ①所在地 | 千葉県柏市十余二380番地 岡本硝子株式会社本社工場 |
| ②用途 | 各種レンズ生産のためのガラス溶融炉及び成型設備 |
| ③投資予定額 | 690百万円 |

(3) 設備の導入時期

稼働予定 2025年4月

(4) 当該設備が営業・生産活動等に及ぼす重要な影響

2024年3月期の連結業績に与える影響は軽微であります。